

川崎医療短期大学

広報誌 No.99

特集 オープンキャンパス

- 平成29年度第2回公開講座
- 平成29年度第3回公開講座
- ワッペン授与式
- 医療介護福祉科公開セミナー
- 上海研修／新任職員紹介／
放射線取扱主任者試験合格者
- 学友会活動／医療介護福祉科介護実習開始式／
川崎エコアクション
- インフォメーション

あけ





特集

オープンキャンパスに
楽しく参加して、
有意義な選択を

本学では、3月から10月に、毎年オープンキャンパスを開催しています。3月、6月、7月は、川崎医療福祉大学で川崎学園の3校（川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院）による合同開催、5月、8月、10月は、本学の単独開催となっています。どの開催日にお越しいただいても、本学の魅力や学生生活の様子、入試情報、医療福祉関連の資格取得に有用な情報を提供できるよう、趣向を凝らしています。

今回の特集では、オープンキャンパスの内容や、高校生のときに参加したことがある在学生の感想などをお伝えします。2018年の開催日程もほぼ決定していますので、ぜひ、ご参加ください。なお、臨床検査科、放射線技術科、医療保育科は、2017年度から川崎医療福祉大学に移りましたので、そちらにご参加ください。

川崎医療福祉大学で行われる
全体会の様子

各学科の代表がオープンキャンパスのプログラムや開催場所をご案内します。入試情報や3校の特徴なども説明します。



本学単独開催の特徴は？

2018年開催日時（予定）		
3月18日（日）	13：00～16：00	3校合同
5月19日（土）	13：00～16：00	本学単独
6月17日（日）	10：00～15：00	3校合同
7月22日（日）	10：00～15：00	3校合同
8月18日（土）	13：00～16：00	本学単独
10月20日（土）	10：00～15：00	本学単独
21日（日）	10：00～15：00	（学園祭と同時開催）

開催日時については、変更の可能性があります。詳細は、短期大学ホームページをご確認ください。なお、本学の学校見学は随時受け付けています。その他詳細は、教務課までお問い合わせください。

【TEL:086-464-1033】

（受付・平日8:30～17:00、土曜8:30～12:00）



本学単独開催の全体会

本学の特色や入試対策などを紹介しています。



3校合同開催の特徴は？

川崎学園で養成しているさまざまな医療関係職種を体験できます。



子ども医療福祉学科の相談コーナー

在学生・教職員がさまざまな質問に答えます。ミニ講義や「遊び体験」も行っています。



臨床検査学科の体験実習

微生物検査の体験コーナーでは、細菌の培養方法を体験することができます。



診療放射線技術学科の体験学習

実験室にあるX線装置を使って、自分自身の持ち物をX線撮影する体験コーナーです。



川崎学園ならではのイベントは？

川崎医科大学附属病院には、ドクターヘリが配備されており、フライトナースの仕事の紹介やヘリの見学も行っています。ただし、実際に運航しているため、変更や中止になる場合もあります。



本学単独開催のイベントは？

多くの教員や在学生と話をしもらうイベントとして、じゃんけんで Get を実施しています。また、病院や学生寮の見学、Web出願デモンストレーションも行います。

看護科・医療介護福祉科のさまざまな実習設備を実際に見て体験できます。教員や在学生と懇談する機会も多いため、学生生活をより具体的にイメージすることができます。オープンキャンパスを通じて、それぞれの学科で得られる資格や卒業後の進路まで考えてもらうことができます。



軽食をお配りします

参加者へ飲み物と軽食をお配りしています。たくさんの種類があるため、迷うかもしれません。



じゃんけんで Get

在学生や教職員と話をしながらじゃんけんをします。スタンプを集めて商品を Get しましょう。



Web出願デモンストレーション

本学では、Webを用いて出願を行います。担当者と一緒にシミュレーションをし疑問点に答えます。



看護科の内容は？

実習や演習の様子をパネルで紹介しています。また、本学の学びの特徴が分かるように、模擬講義や実習のミニ体験も複数準備しています。在学生と話をすることもでき、大学生活や実習・学習についての生の声を聴くことができます。

ミニ体験

「母性:赤ちゃんの生活のお世話」

本館3階の母性・小児看護実習室には、女性の妊娠・出産・分娩・育児の援助にかかわるさまざまな器材があります。8月のオープンキャンパスでは、約50人の高校生や保護者の方が参加され、新生児の日常の世話において基本となる授乳時のポジショニングや哺乳びん授乳、オムツ交換の演習を行いました。オムツ交換では、胎便（出生後の緑黄色の便）を模した**つくだに**の模擬便に感動していただきました。



成人看護学実習体験

「シミュレーターで呼吸音を聞いてみよう！」

成人看護学実習では、全身状態を観察する技術の向上のために、フィジカルアセスメントモデルの「フィジコ」を使用しています。8月のオープンキャンパスでは、聴診器を使って異常な呼吸の音を聴いてみました。「フィジコ」は、命が宿る（電源が入る）と、閉じていた眼がパッと開きます。体験した高校生は、驚きの声と笑いをあげながら、好みの色の聴診器を手に取り、「フィジコ」から聞こえてくる音を一生懸命聴き取りました。看護師としての将来の自分の姿を想像できる経験ができたと思います。



模擬講義

「循環器系について」

今年度の模擬講義は、生後と胎生期の血液循環をテーマに行いました。これらのテーマに限りませんが、名称だけを暗記しても人体の構造と機能は理解できません。講義では学生と一緒に図を描き、色を塗り、どこで何が起るのかをイメージします。その結果、特別な事が起る所＝要点が目の前に浮かび上がり、なぜこんなことが起るのか、その結果どうなるのかという疑問がわいてきます。それを考えて理解し、納得することで理解を積み上げていきます。お気に入りのカラーペンを用意して楽しく参加してください。



高校生のときにオープンキャンパスに参加した在学生のコメント

私は、赤ちゃんの心音を聴く体験をしました。初めて赤ちゃん人形を前にして緊張していたとき、先輩が笑顔で話しかけてくださったので、緊張も少しずつほぐれ、体験をしながら普段の大学の様子も聞くことができました。なかでも印象深かったのは、授業や実習で分からなかったことについて、理解ができるまで何度も先生に説明していただいていると伺ったことでした。先生と学生の距離が近いからこそ、勉強にも熱心に取り組めると感じました。また、寮では、勉強で困ったときお互いに教え合いながら頑張っていると聞き、この大学に入学したいと決心することができました。



看護科 1年

永井 花歩

姫路市立飾磨高等学校出身



医療介護福祉科の内容は？

模擬講義

1回目:「ボディメカニクスを知ろう

ー生活の自然な動きを知ってみませんかー

2回目:「暮らしのなかの移動

ー生活にかかせない移動(移乗)について
知ってみませんかー

人々の生活に寄り添う職種である介護福祉士を養成する学科ならではの内容です。1回目は、私たちが日頃、自然に行っている動きを知ること、2回目は、すべての生活行動に移動が関わっているのを知ることについて、模擬講義を行いました。

在學生と一緒に体を動かしながら体感していただくため、参加者と在學生との距離も近くなり良い雰囲気が進めることができました。また、「ボディメカニクス」や「ADL」

「IADL」など、介護福祉士に必要な専門用語も説明し、介護福祉士の専門性や知識にも触れることができたと思います。



模擬講義

「チーム医療から見た食べることへのアプローチ」

介護福祉士が仕事をする現場では、さまざまな職種の人が1人の利用者（患者）のために連携し、利用者の生活がよりよくなるように働きかける「多職種連携」が行われています。模擬講義では、食事に対する利用者の想いをかなえるために、介護福祉士、看護師、管理栄養士がそれぞれの専門的立場からどのようにケアできるかを協働して検討する多職種連携について、ロールプレイを行いました。介護福祉士は利用者の想いに最も深く寄り添う立場にあるため、連携のリーダーとなります。今回は利用者の20年後の姿も想定しながら、食事介護を在學生にデモンストレーションしてもらい、参加者には声掛けや食事の進め方を実践してもらいました。



模擬講義

手話歌模擬講義・披露

模擬講義のなかで、在學生が手話歌「花は咲く」「トイレの神様」「365日の紙飛行機」を披露しました。そして、歌詞のなかにある言葉の持つ意味と手話での表現を説明し、最後は歌に合わせて参加者の方々と一緒に手話の表現を行いました。手話には伝えようとする気持ちが何よりも大切です。そのことを表現するかのよう、参加者の皆さんは、手話とともに表情や口話も合わせながら表現をされていました。

また、川崎医療福祉大学のエレベーターホール前でも手話歌を披露することができました。多くの方が立ち止まって見入ってくださり、手拍子をしてくださる方もいらっしゃいました。



高校生のときにオープンキャンパスに参加した在學生のコメント

高校3年の5月にオープンキャンパスに参加して、在學生の方がとても親切にしてくれたので楽しかったです。また、学生生活のことも詳しく伺うことができ、この短期大学に入学したいと思いました。介護技術の模擬講義で移乗の体験をさせてもらったのですが、家で祖父の介護の様子を見ていたので、一つひとつの動きについてより具体的な根拠を知ることができました。介護福祉士の素晴らしさを再認識することができたと思います。また、病院でも介護福祉士が仕事ができることを初めて聞き、自分自身の夢が広がりました。全体会では、入試の説明や面接講座を聴くことができました。これらは、受験のとき、とても役に立ちました。



医療介護福祉科 2年

中戸 春香

岡山県立高梁高等学校出身



平成29年度 第2回【看護科】 公開講座報告

突然の心臓発作や心停止！ あなたとあなたの大切な人を救うために！

講師 井上 千穂 看護科非常勤講師
ICLS（日本救急医学会）インストラクター
川崎医科大学附属病院看護師

8月19日（土）に、平成29年度第2回川崎医療短期大学公開講座（主幹：看護科）を開催しました。さまざまな疾患が原因で突然倒れてしまう人が少なくないなかで、私たちは、いつどこで生命の危機に陥った人に出会うかもしれません。そのようなときに、私たちに心肺蘇生に関する知識があれば、尊い命を救うことができるでしょう。講座ではいざというときに役に立つ心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学んでいただくことを目的として、以下のようなお話をしました。



倒れている人がいたら、まず声を掛けて

倒れている人を見つけたとき、声を掛けるのに躊躇することもあるでしょう。道で倒れている成人男性がいたにもかかわらず、通行する人が誰も声を掛けられなかったということもありました。もし倒れている人が心停止を起こしていれば、その対応には一刻を争います。心臓が停止すると、命が助かる割合は1分毎に約10%低下していき、10分を経過するとほぼ助からないと言われています。また、心臓が停止して脳に酸素が送られない状態が3～4分以上続くと、助かっても重い後遺症が残る恐れがあります。そこで、倒れている人がいればまず声を掛けます。倒れている人の肩をたたきながら大声で呼び掛け、反応の有無を確認します。意識がなく心停止の状態であれば、少しでも早く心肺蘇生を始めることが重要です。

救急車が来るまで —

1. 応援を集め、胸骨圧迫を開始

倒れている人に反応がなければ「誰か来て！」と大声で応援を求めて、119番通報を依頼します。近くにAEDがあれば取り寄せます。次に呼吸の確認です。胸部と腹部の動きを観察して、呼吸がないか、普段どおりの呼吸でなければ心停止と判断します。ただちに胸骨圧迫を開始します。胸骨圧迫は止まった心臓の代わりに全身に血液を送る効果があります。救急車が到着するまで絶え間なく続けることが必要です。



資料提供ICLS

救急車が来るまで —

2. AED（自動体外式除細動器）の使用

AEDが到着したらすぐに電源を入れます。以下、AEDの音声ガイドに従って①～⑤を実施します。

- ①電極パッドを貼る。（できるだけ胸骨圧迫を実施しながら）
 - ②倒れている人から離れる。（AEDが心電図を解析：胸骨圧迫はいったん中止）
 - ③電気ショックが必要な場合は「ショックが必要です」と音声ガイドが流れる。
 - ④倒れている人に触れている人がいないことを確認する。
 - ⑤ショックボタンを押す。（AEDが電気ショックをかける）
- その後もAEDのガイドに従い、約2分おきに胸骨圧迫とAEDの使用を繰り返します。

もしも「ショックは不要です」とAEDが言っても、それは心臓が動いているという意味ではありません。倒れている



AEDの演習

人に反応がなければ、胸骨圧迫を行います。手足が動き出すなど反応があれば、AEDのパッドを貼ったままの状態で見守ります。

ひとりでも多くの救命を。 皆さんの協力が必要です！

近年の救急車が到着するまでの平均時間は、約8～9分です。この間、周囲の人と交代しながら胸骨圧迫やAEDを行い救急隊に引き継いでください。一般の人がAEDを使用することによって、救命率は2～3倍になると言われています。また、混乱した現場でスムーズに救命するためには、周囲の人と協力して役割分担をする必要があります。例えば、道端であれば交通整理をする人、到着した救急隊を現場まで誘導する人、学校などでは他の生徒が混乱しないよう対応する人なども必要です。

（看護科 黒田 裕子）



会場の様子



平成29年度 第3回【臨床検査科】公開講座報告

職場でよくみるメンタルヘルス不調とその対策

講師 勝山 博信 川崎医科大学公衆衛生学教授
同附属病院健康診断センター部長



10月21日(土)に、平成29年度第3回川崎医療短期大学公開講座(主幹:臨床検査科)を開催しました。今回は勝山 博信先生を講師に迎え、「職場でよくみるメンタルヘルス不調とその対策」という演題で、90分間の講演をしていただきました。勝山先生は、終始和やかな表情で丁寧に講話され、職場で身近に起こり得るメンタルヘルス不調のさまざまな要因とその対策について、具体的に分かりやすく説明されました。以下に、講演内容の一部を紹介します。

メンタルヘルス対策の変遷

- *かつての対策の対象は、^{もろ}うつ病、統合失調症、アルコール依存症であった
- *現在では、発達障害、現代型うつ病なども対策の必要がある
- *これには、人間関係の希薄化、ハラスメントなどが背景にある
- *メンタルヘルス上の問題は、時代とともに多様化している

対応すべき健康障害

- *気分障害(感情障害)
- *職場で見られるうつ病の初期症状
- *うつ病診断基準について
 - ・従来型うつ病---社会的規範に対するこだわり
 - ・現代型うつ病---自分のルールに対するこだわり
- *統合失調症、神経症性障害、アルコール使用障害、アスペルガー症候群

働く人のストレス要因

1. 職場要因
 - *職務、対人関係、組織構造など
2. 個人要因
 - *まじめな性格、几帳面で融通性・統合力が不十分な傾向
 - *消極的で自主性・社会性が不十分
 - *自己中心的で協調性が不十分 など
3. 家庭要因
4. 社会要因

現代社会では、2人に1人はストレスを感じていると言われている。ある程度のストレスは自己を成長させるうえで必要なものであるが、過度のストレスは心身の不調要因となる。職場生活の3大ストレスは、①人間関係、②仕事の量、③仕事の質である。職場におけるメンタルヘルス不調に対する対策を向上させることが重要である。対策にあたっては、1. 職場におけるストレス要因の軽減、2. 勤労者一人ひとりのストレス耐性の強化という二つの方向から進めていく。

パワーハラスメント、プレゼンティズムなどの新たな健康障害要因の増加

- *ハラスメント判断の五つのポイントを理解する
- *パワハラが生じる社会的背景(コミュニケーションが少なく、仕事量が多い、ストレスが溜まっている、価値観の多様化、社会のスピード化が増す、差別意識)を理解する
- *プレゼンティズムの意義と問題点を理解する
- *心と体が損なわれる要因を理解する

メンタルヘルス対策は継続することが重要

勝山先生は、職場で私たちが仕事をしていくなかで、知っておくべき大切な視点やメンタルヘルス問題への対策について、具体的に教えてくださいました。この問題を身近な問題として考えることができ、有意義な講演会となりました。あいにくの悪天候でしたが、当日参加をしてくださった方もいらっしゃいました。参加者の皆さんは熱心にメモを取りながら聴講されていました。第3回公開講座を無事終えることができ、勝山先生並びに参加いただいた皆様に心より感謝いたします。

(臨床検査科 永瀬 澄香)





臨床検査科 最後の ワッペン授与式



臨床検査科2年生62人のワッペン授与式が、10月7日(土) 午前10時から、200号大講義室にて川崎医療福祉大学臨床検査学科1年生を交えて、挙行されました。川崎医療福祉大学への改組にともない、臨床検査科として最後のワッペン授与式となりました。学歌斉唱後、通山 薫学科主任から2年生一人ひとりの左肩にワッペンが授与されました。ワッペンを授与された学生は、いつもより自信に満ち、すがすがしく、1年前とは違って大人びたように見えました。学生の決意表明では、鷲田 伸吾さんが臨床検査科ワッペン授与式誓詞を読み上げ、2年生全員で復唱しました。

通山学科主任から、ワッペンは臨地実習の許可であること、また、ワッペンの図柄(ホールピペット、心電図、顕微鏡)やイニシャルのHSSCに込められた意味が説明されました。そして、健康で、モチベーションを絶やさず、粘り強くコツコツ臨地実習を頑張るための三つの気(元気、やる気、根気)についてお言葉をいただきました。

小池 将文学長は、臨床現場での実習が一生の宝となるように、先輩から見聞きし、専門性と技術を磨き、多職種連携(チーム医療)を考えるよう訓示されました。また、日々笑顔で、約束を守り、嘘をつかないことを遵守し、病院内での個人情報保護を守り、個人の健康管理を行うよう激励されました。

本学同窓会(松丘会)の河口 豊さん(臨床検査科支部長)は、ワッペンの意義や本学が他大学に比べて臨地実習の期間が長く、技術を磨くための筆記試験や実技試験があること、本学から技師長や各部門長などが輩出していることを紹介されました。そして、医療人として、患者や家族、友人を大切にしてほしいと述べられました。また、川崎医科大学附属病院の園尾 博司病院長の言葉を引用されて、病院を愛することなどの激励の言葉をいただきました。その後、松丘会からの記念品を新井 奈月さんが受け取り、厳粛に執り行われた会は終了しました。

閉会後には小雨も上がり、校舎前で記念写真(本紙表紙参照)を撮り散会しました。
(臨床検査科 鐵原 拓雄)



ワッペン授与



決意表明(学生代表 鷲田 伸吾)

医療介護福祉科 公開セミナー

THE Six SENSE

～医療福祉系シミュレーションゲーム～

9月3日(日)に、川崎医療短期大学医療介護福祉科公開セミナー「THE Six SENSE～医療福祉系シミュレーションゲーム～」を開催しました。「THE Six SENSE」は、車いすに乗る人と押す人が2人組でゲームのコマとなり、タブレットを使って人生ゲームの要領で未来の世界を進んでいくゲームです。途中には以下の5カ所の体験ブースがあり、医療福祉に関する体験をしながらゲームを進めていきました。



移動介助の体験ブース

移動介助の体験ブースでは、車いすに座った状態からベッドに移乗するスーパートランスを体験しました。これは、写真のように介助者の腿に乗り、ずらすようにベッドに移るため、双方の力をあまり必要としない移動介助方法です。



視覚障がい者の食事の体験ブース

視覚障がい者の食事の体験ブースでは、アイマスクをつけ、お皿に置いたポテトチップスを食べました。なかなか箸で摘まむことができず困りましたが、介護者が卓上のものや料理を置いた場所などを、時計の文字盤に例えて知らせるクロックポジションを用い、「〇時の方向にあります。」などと声を掛けてサポートしました。



認知症の症状を体験するブース

認知症の症状を体験するブースでは、バーチャルリアリティのゴーグルを掛け、電車に乗った認知症の高齢者が降りる駅が分からなくなったときの不安な気持ちを体験しました。どこにいるのかが分からないという不安な気持ちでいる高齢者が、声を掛けられて安心する気持ちを体験することで、困っている人がいたらどのように声を掛け、共感を示せばよいかを考えるきっかけになりました。



その他のブース

ヘッドフォンをつけて、周りの音が大きく聞こえて言葉が聞き取りにくい聴覚過敏の方の聞こえ方を体験するブース、手首や腕に重りをつけて動きにくい状態で習字を体験するブースもありました。



福祉・介護というと大変そうというイメージを持つ人も多いと思います。このゲームを通して、介護を必要とする方の体や心の状態を体験し、人と人との関わりのなかから感じられる介護の魅力や医療福祉専門職の仕事内容を垣間見てもらうことで、医療福祉・介護のイメージを変えるきっかけになればと思います。

このあと、12月3日、来年3月4日にも開催を予定しています。

(医療介護福祉科 山田 順子)



川崎学園上海研修

8月22日（火）から3日間、上海研修に参加しました。1日目に周浦病院と上海健康医学院を訪問し、2日目には曙光病院と上海中医薬大学を訪れました。周浦病院では、患者を家族が看護したり医師が患者を選べたりと、家族の関わりやシステムが日本と違っていました。上海中医薬大学では、学内の博物館で歴史に触れ、講師の先生から漢方についての講義を聴き、在学生と交流もしました。なかでも楽しかったのが在学生との交流で、日本語も英語も話せる学生が私たちを歓迎してくれました。上海のグルメを教えてもらったり、日本のことを教えたりして、思った以上にたくさん会話ができました。この学生交流を通して、私も外国語を話せるようになりたいと思いました。このほかにも、ナイトクルーズで近代的な夜景を楽しんだり、豫園という庭園に行ったりと、充実した時間が過ごせました。上海での3日間は発見や驚きの連続で、さまざまな刺激を受けました。3日間引率してくだ

さった先生方に感謝して、上海研修で得たものを今後の勉強に生かしていきたいと思います。

（看護科2年 古賀 千晶）



新任職員紹介

本学の仲間になった職員の方を紹介します。



栄 理恵 庶務課 事務員

学校勤務は初めてです。ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、皆さんが充実した学生生活を過ごせるための努力は惜しみません。微力ながらもできることは全力で頑張りますので、遠慮なくお声を掛けてください。



放射線取扱主任者試験 合格者

【第2種】

（放射線技術科2年2名）

上崎 亮、前田 太志郎

【放射線取扱主任者とは】

放射線取扱主任者は、放射線業務従事者や一般公衆等に対して放射線障害が起こらないように、放射線同位元素等の取り扱いについて監督を行います。一定数量以上の放射線同位元素等を使用・保管する施設では、この国家資格の免状を取得した「放射線取扱主任者」を配置する必要があります。

放射線取扱主任者は、取り扱える放射能の数量等によって、第1種から第3種まで区分されています。第1種と第2種の免状を取得するには、文部科学大臣登録試験機関が実施する放射線取扱主任者試験に合格しなければなりません。さらに、文部科学大臣登録資格講習を受講（第1種5日間、第2種3日間）し、最終日に実施される修了試験に合格することで免状が交付されます。

受験資格に特別な制限はなく、一般の方でも受験可能です。本学の学生は、病院などの就職先で生かせる第1種と、第1種よりも学習範囲の狭い第2種の試験合格を目標にチャレンジしています。

学友会研修旅行

学友会メンバーの団結力を高めるため、8月30日（水）、31日（木）の1泊2日の日程で、小豆島へ研修旅行に行きました。さまざまな学科や学年の混成メンバーで、バスケットボールやバドミントン、卓球の対抗戦、バーベキューや流しそうめんなどを楽しみました。これらのレクリエーションを通して、今までよく知らなかったメンバーともしっかりとコミュニケーションを図り、お互いに理解し合うことができました。団結力を深めることで、学園祭を成功に導けると強く感じる事ができた経験でした。

（臨床検査科2年 須崎 希）



学園祭清掃活動

10月14日（土）に、川崎学園祭実行委員の主導で、翌週の川崎学園祭に向けて清掃活動を行いました。今年も全学生に呼び掛け、教職員や模擬店出店団体にも参加していただきました。



あいにく開始時に小雨が降り始めましたが、参加者全員、張り切って取り組みました。参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。この日の午後には、地域の方とお話する機会があり、温かいお声掛けもいただきました。地域の方々のご理解があってこそこの川崎学園祭です。このような清掃活動や挨拶をきっかけとして、地域と学園との連携を一層深めていきたいと思いました。

（学園祭実行委員長 看護科2年 水野 愛梨）



医療介護福祉科介護実習開始式

11月から始まる集中実習を前に、医療介護福祉科1年生の実習開始式が、10月31日（火）に行われました。小池 将文学長兼学科主任の挨拶に続き、学生一人ひとりが実習に向けての意気込みを宣誓しました。宣誓のなかでは、利用者の想いを大切にしたい、一つの方法ではなく、個別ケアについて考えていきたい、といった介護福祉士にとって大切なことが語られました。

引き続き、先輩を代表して、2年生の講元 誠志さんから、実習生としての態度や利用者といえ関わりを作るためにも知識と技術が必要という、身の引き締まる激励の言葉が送られました。最後に、卒業生の高田 優理さんから実習に臨む心構えについてお話をいただきました。

（医療介護福祉科 居村 貴子）

地球温暖化対策ワーキンググループだより

No. 38

川崎エコアクション

今自分にできることを
考えませんか

生活のなかの省エネを考えることは非常に大切です。例えば、皆さんは日ごろ夜ふかしをしないで、早寝早起きを心掛けていますか。大学で、使っていない教室やトイレの明かりをつけっぱなしにしているですか。カーテンによる太陽光の調節やクールビズ・ウォームビズなどで、冷暖房機に頼り過ぎない工夫をしていますか。冷房・暖房の温度を控えめに設定していますか。エレベーター内にも表示してありますが、2階アップ、3階ダウンを実践して、階段の利用を心掛けていますか。

些細なことばかりですが、小さいことの積み重ねで温暖化を防止することが可能です。実践あるのみです。

（臨床検査科 鐵原 拓雄）

2018年度 AO入試前期・AO入試後期・推薦入試前期結果

AO入試前期			
試験日：8月26日(土) 合格発表：9月1日(金)			
	看護科	医療介護福祉科	計
募集人員	25	30	55
出願者数	65	6	71
出願倍率	2.6	0.2	1.3
合格者数	43	6	49

AO入試後期			
試験日：9月30日(土) 合格発表：10月6日(金)			
	看護科	医療介護福祉科	計
募集人員	15	10	25
出願者数	28	1	29
出願倍率	1.9	0.1	1.2
合格者数	22	1	23

推薦入試前期			
試験日：10月28日(土) 合格発表：11月4日(土)			
	看護科	医療介護福祉科	計
募集人員	30	20	50
出願者数	31	5	36
出願倍率	1.0	0.3	0.7
合格者数	26	5	31

2019年度の入試概要は6月以降に本学ホームページで公表します。詳細については、学生募集要項でご確認ください。
入試に関する問合せ先：【教務課】TEL：086-464-1033 Eメール：nyushi@jc.kawasaki-m.ac.jp

主要行事(1月～3月)

1月	4日	仕事始め
	20日	川崎学園防災の日
	22日	看護科1年基礎看護実習Ⅰ開始(～27)
	24日	医療保育科2年保育実習成果発表会
	29日	全学科午後休講
	30日	一般入試前期・センター試験利用入試(学生は校内立入禁止)(～31)

2月	2日	医療保育科2年保育実習成果発表会
	3日	医療保育科3年オペレッタ発表会
	9日	一般入試前期・センター試験利用入試合格発表
	16日	医療介護福祉科2年実習事例報告会
	20日	在学生健康診断(～21)
	22日	一般入試後期(学生は校内立入禁止)
3月	28日	一般入試後期合格発表
	15日	卒業証書・学位記授与式
	18日	3校合同オープンキャンパス

2018年度一般入試(前期・後期)・センター試験利用入試日程

試験区分	願書受付期間	試験日
一般前期 センター試験利用	2018年1月4日(木)～1月16日(火) 【消印有効】	〈A日程〉2018年1月30日(火) 〈B日程〉2018年1月31日(水)
一般後期	2018年2月3日(土)～2月13日(火) 【消印有効】	2018年2月22日(木)

国家試験日程

区分	試験日	合格発表
第30回 介護福祉士国家試験	2018年1月28日(日)	2018年3月28日(水)
第107回 看護師国家試験	2018年2月18日(日)	2018年3月26日(月)
第64回 臨床検査技師国家試験	2018年2月21日(水)	2018年3月27日(火)
第70回 診療放射線技師国家試験	2018年2月22日(木)	2018年3月27日(火)



川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(99号)

2017年12月発行

編集発行：広報誌編集委員会

河邊 聡子(医療介護福祉科・委員長)
見尾 久美恵(一般教養・副委員長)
森本 寛訓(一般教養)
榎本 朋子(看護科)
黒住 菜美(臨床検査科)
天野 貴司(放射線技術科)
重松 孝治(医療保育科)
桑田 俊明(庶務課)
松井 美奈(庶務課・書記)
小池 香里(庶務課・書記)

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032(庶務課)

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

編集後記

広報誌編集委員会の活動をするにあたり、少しずつですが今までに発行された広報誌に目を通して頂いています。表紙には懐かしい卒業生の笑顔が鮮やかな写真で残り、当時のことをいろいろ思い出しました。大変だったことや苦労したことだけでなく、学生の笑顔の写真に、楽しかったことや頑張ったことを思い出して元気づけられています。「若きいのち」の歴史は短大の歴史でもあり、私たちの歴史でもある、そんな思いがしています。

今回はオープンキャンパス、公開講座、ワッペン授与式などを取り上げました。入試制度や合同オープンキャンパスなど次世代に向けて新しくなったものと、ワッペン授与式など短大の長い歴史のなかで変わらず行われている各科の行事があります。これらの行事も改組によりひとつずつ最後の回を迎えており、寂しい限りです。思い出に浸りながらも未来に向けて歩みを進めていく「若きいのち」になったと思います。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず本誌の執筆をしてくださった皆様(看護科 榎本 朋子)に厚く御礼申し上げます。